

平成28年度 国際共同研究支援事業費補助金（歴史国際研究支援事業）
事業計画書

1. 基本情報				
事業名及び事業概要	※事業名及び事業概要について、200字以内で記入			
事業実施期間	※下記の期間から1つを選択し「○」を記入 () 1年間（平成 年度） () 2年間（平成 年度～平成 年度）（うち 年目） () 3年間（平成 年度～平成 年度）（うち 年目）			
責任機関	組織名			
	代表者 氏名 （法人の長など）		役職名	
	本部所在地	〒		
①事業代表者	フリガナ		生 年	昭和 年 月 日（ 歳）
	氏 名		月 日	
	所属部署		役職名	
	所在地	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			
②事務連絡担当者	フリガナ			
	氏 名			
	所属部署		役職名	
	所在地	〒		
	TEL		FAX	
	E-mail			

2. 事業実施体制

※事業を実施するための人的体制、それぞれの役割分担を記載。それぞれの経験、能力等を示す資料を別添すること。複数のグループを設ける場合はその旨もわかりやすく記載。

事業総括、グループリーダー、研究担当、渉外担当等の別	氏名	所属機関・部局・職	役割分担

3. 事業の背景・目的・意義（最大3ページ程度）

【事業の背景】 ※どのような背景・問題意識に基づいて本事業を提案したのかを具体的かつ明確に記載。

【事業の目的・意義】

※本事業の実施によって何を達成したいのか、日本外交にとっての意義、本事業の卓越性などを具体的かつ明確に記載。

4. 事業内容・事業実施方法（最大 5 ページ程度）

※以下を含む事業内容・事業実施方法について具体的かつ明確に記載すること。

- ・事業内容・事業実施方法の実現可能性。
 - ・それぞれの事業内容が
- ① 世界やアジアを対象とした歴史研究に関する情報収集・調査・分析・資料作成
 - ② 上記研究における海外研究調査機関・有識者の参画・協力・連携
 - ③ 上記研究に関する国際シンポジウム・国際セミナー・国際研究会の実施
 - ④ 上記研究に関する国内研究調査機関・有識者と海外研究調査機関・有識者間のネットワーク強化と相互理解促進
 - ⑤ 事業成果物及び事業を通して得られた知見についての国内外への発信・共有（最終的な研究成果の一般への出版を含む）のいずれかに該当するか。
- ・独創的なアイデア、事業実施方法の工夫など、提案する事業内容・事業実施方法の特徴・強み。
 - ・事業内容が事業目的の達成にどのようにつながるのか。

5. 事業実施計画（最大3ページ程度）

【事業実施期間とその理由】※選択した事業実施期間について、その期間が必要である理由を記載。

【1年目】

【2年目（2年事業を希望する場合）】

【3年目（3年事業を希望する場合）】

6. 事業実施効果及び波及効果（最大3ページ程度）

※以下を含む事業実施の効果及び波及効果について、具体的かつ明確に記載すること。また、効果を測る指標を可能な限り記載すること。

- 事業実施が、どのように国際社会における相互理解を促進するのか。
- 事業実施が、日本外交に資する国際環境の安定性の強化にどのように寄与するのか。
- 事業実施が、実施機関の能力強化・向上にどのように、またどの程度資するのか。
- 事業実施が、我が国の調査研究機関と海外調査研究機関とのネットワーク強化にどのように資するのか。
- 事業実施が、日本外交にどのように貢献するのか。

7. 所要経費（見込み）		
※様式については本様式ではなく独自の様式を用いても構わない。その場合、経費の内訳を明示すること。また、必ず以下の経費区分に準拠した形で記載すること。		
経費の内容	1 年目（平成 年度）	2 年目（平成 年度）
会議運営費		
（内訳）		
②謝金		
（内訳）		
③旅費		
（内訳）		
④招へい費		
（内訳）		
⑤成果広報費		

(内訳)		
⑥事業推進費		
(内訳)		
⑦事業管理費		
合計		